

学校運営協議会だより

NO.3

横浜市立大口台小学校 学校運営協議会 2月26日(土)第6回協議会より

今年度最後の学校運営協議会が2月26日(土)10時から行われました。学校評価について、たくさんのご意見をいただきました。学校からの報告と委員から意見をいただいた協議事項がありました。

学校運営協議会の資料は学校ホームページの「学校運営協議会」の中に掲載しています。

◆協議(意見交換)

- 学校評価アンケート結果報告
- 学校評価報告書

◆報告

- 学校経営について
- 重点研究について
- いじめ防止対策委員会
- 学校の様子
- 学校地域協働活動事業報告
- 令和4年度学校行事予定について

【学校評価アンケート結果について】

◆ 児童や保護者は肯定的な回答が多かったが、職員は少なかった。挨拶に対する意識のギャップがあった。

- 朝通学路に立っているが、顔を見るとあいさつをしてくれる。盲学校の生徒とぶつからないようにしている児童も見られる。ただ高学年になると友達の会話に夢中であいさつできない場合もある。
- 井戸水体験などで触れ合った児童はあいさつをしてくる。それ以外の認識がない児童は難しい。友達や教員とのあいさつなど、関係がある人へのあいさつをまずは進めてほしい。
- たてわり活動があったときは異学年交流があったので他学年との関係作りができていた。コロナ禍が終わったらぜひ実施してほしい。学校に来た時に、校内ですれ違う児童はあいさつをしてくれている。
- 盲学校の児童は自分が声を掛けられているのかが分からないため、「〇〇さん、おはよう」などと名前を付けるよう工夫している。あいさつは大切。
- 神奈川中学校はあいさつをよくしている。マスクをしているため部活が実施できたりできなかつたりで、上下関係や信頼関係づくりがやや難しくなっている。見ている限りではこの地域の子はしっかりできているしそういう家庭も多い。

◆ 先生に相談しやすいという項目(13番)について児童と先生のギャップがある。

- 教員側ができていないと感じていても、児童が相談しやすいと思うようにならないといけない。本来なら逆になってほしい項目である。
- 項目12・13番のように児童と教員の認識の違いについて問題がある。この設問はつながっていると感じる。学校開放のときはあいさつをしている。教員が知らない部分がある。

【学校評価報告書について】

- ◆ 学校評価の報告に対するご意見をいただきたい。
- 我々が目にできない部分があるが評価としてはこのような形になるのだと思う。中学校に行けば先輩とのつながりも出てくる。先輩に指導されることが当たり前だった。アンケートを見ると児童のたくましさがなくなっているように感じる。指導か雰囲気はわからないが、パレットの子の方がよくあいさつをしている。
- 児童指導の評価が B 評価であるが、学校の様子を見ると丁寧に対応しているので A 評価でよいのではないか。(他委員からも賛同あり。)

【各委員からひとこと】

- 卒業式教室で保護者が参観できるというのはとても素敵なことだと思う。保護者の不満も解消できる。よい方法を考えてくれた。
- 日頃よりPTA活動にご協力いただきありがとうございます。見守り隊を増やしていきたい。千葉でも悲惨な事故があった。危険個所は大口台の学区にもある。見守り隊をやってもいい方がいれば副校長、地域コーディネーターに知らせてほしい。
- 池下町会では、防犯情報については、警察から情報を得て「結ネット」を使って地域で発信している。
- ぱれっと側の門で違法駐車やたばこの吸い殻が見られ、学校側が困っていると聞いた。
 - 学校開放については通常の練習のときは車で来るチームはない。地域の人で勝手に駐車をしているのは昔からある。たばこについては学校開放の人には、強く言っている。門の近くでもやめてもらっている。
- 卒業式は教室で参加を希望することはできるだろうか。式場ではなく、教室のお手伝いをしたい。

連絡事項

- ・令和4年度の委員と予定表を同封している。令和4年度の学校運営協議会については承諾していただけたら承諾書を学校へ提出してほしい。
- ・卒業式、入学式については、学校運営協議会の委員を地域代表としている。参加される場合は学校へ提出してほしい。